

高松市水道資料館のリニューアルに向けて

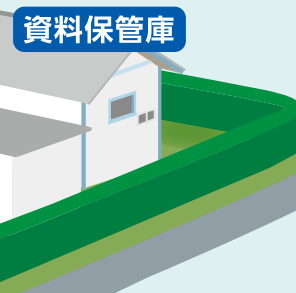
工事を開始します！

鶴市町にある高松市水道資料館は、大正6〜7年、高松市の近代水道創設のために建設された旧御殿水源地のポンプ室、事務室、倉庫を改装したものです。

長い年月の間に増築や改築された部分はあるものの、ほとんどの部分は建設された当時の姿を残しており、歴史的・文化的価値が高い建造物として、平成9年5月に歴史館（旧ポンプ室）とPR館（旧事務室）が「登録有形文化財」に登録されています。

また、平成28年3月には、周辺の資料保管庫（旧倉庫）や門柱など4件も、登録有形文化財とするよう文部科学大臣に答申されるなど、文化財として高い評価を得ています。

しかし、建物全体の老朽化が著しく、地震に対する強度も不足していることから、この度、耐震補強工事を行うことになりました。また、耐震補強にあわせて、学びの場としてだけでなく、市民の皆さまの憩いの場として利用していただけるよう、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行います。



PR館（旧事務所）

L字型の建物で、建物の出隅部に玄関が設けられています。木造日本瓦葺きの平屋でありながら、明かり取り用の欄間（らんま）やアーチ型の破風（はふ）が設置されており、大正建築の特徴である和洋折衷の様式を美しく表現しています。



歴史館（旧ポンプ室）

T字型の建物で、建物内にはポンプを設置するための地下室があります。建物全体は洋小屋組で、キングポストラス構造になっています。三角形はそれぞれの接点が外れない限り変型しないという特徴を利用したもので、柱を減らし、開放感のある空間を生み出すことができます。

PR館

- 建物の耐震補強を行います。
- 増築部分を取り壊し、建設当時の姿に戻します。
- 多機能トイレ、授乳室などを新たに増築します。
- 室内はさまざまな用途に使用できるよう柱を取り払い、開放感のある空間に整備します。

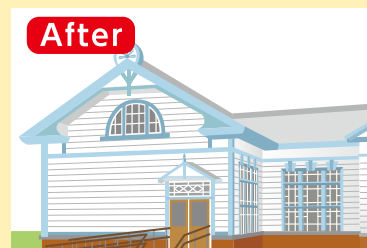


柱を撤去

完成イメージ図

歴史館

- 建物の耐震補強を行います。
- 増築部分を取り壊し、建設当時の姿に戻します。

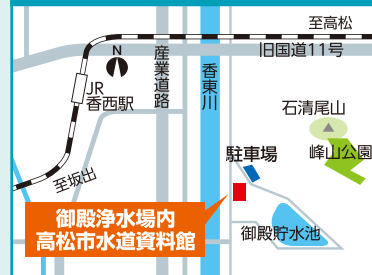


園路

- 凸凹しているレンガ敷きの園路を、車いすでも通行しやすいブロック舗装に改修します。
- 建物の入口部分にスロープを設置します。



高松市水道資料館



所在地	高松市鶴市町1360
開館時間	10時～17時
入館料	無料
駐車場	21台

工事のため今年の秋頃から休館となります。それまでにぜひご来館ください。

※詳細な日程についてはお問い合わせください。なお、工事日程は変更になる場合があります。



完成当時の御殿浄水場全景